

# 前橋市の1世帯当たりのバス代支払額は全国最下位

## ～公共交通機関の積極的な利用を望む～

- 総務省「家計調査（二人以上の世帯）」によれば、前橋市は1世帯当たりのバス代年間支払額が950円（2016年～18年平均）と、全国平均3504円を大きく下回り、都道府県庁所在地及び政令指定都市のうち最下位であった（図表1）。
- また、群馬県が18年3月に発表した「群馬県交通まちづくり戦略」によれば、群馬県では100m未満の移動でさえも4人に1人（26.9%）が自動車を利用しており、過度に自動車に依存したライフスタイルとなっている（図表2）。
- 運転免許証を保有しない人にとって、バスや鉄道などの公共交通機関は重要な移動手段である。利用低迷などで公共交通機関が路線廃止となった場合、まちの衰退に拍車がかかることや、通学が不便だとして子育て世代が地域から流出する恐れもある。地域で自動車以外の移動手段を維持するためにも、全世代を挙げて公共交通機関を積極的に利用することが望まれる。

図表1 2016～2018年平均の1世帯当たりのバス代年間支払額比較

順位	1	2	3	50	51	52	参考
都市	長崎市	広島市	水戸市	和歌山市	山口市	前橋市	全国
金額（円）	10,312	8,102	7,844	1,594	1,519	950	3,504

注）都道府県庁所在地及び政令指定都市5市（川崎市、相模原市、浜松市、堺市、北九州市）の52市で比較。

資料：総務省「家計調査」

図表2 群馬県内の移動距離別にみた主に利用する交通手段の構成比

移動距離	利用する交通手段						合計
	鉄道	バス	自動車	バイク	自転車	徒歩	
0～100m 未満	0.0%	0.0%	26.9%	0.3%	4.8%	67.7%	100.0%
100～300m 未満	0.0%	0.0%	36.5%	0.5%	10.6%	52.4%	100.0%
300～500m 未満	0.0%	0.0%	50.4%	0.7%	13.7%	35.2%	100.0%
0.5km～1.0km 未満	0.0%	0.2%	60.5%	0.8%	13.4%	25.2%	100.0%
1.0km～1.5km 未満	0.0%	0.1%	70.8%	0.8%	12.5%	15.6%	100.0%
1.5km～2.0km 未満	0.0%	0.5%	79.8%	0.9%	12.6%	6.2%	100.0%
2.0km～3.0km 未満	0.3%	0.5%	86.3%	0.8%	10.4%	1.8%	100.0%

注1）四捨五入の関係上、構成比を合計しても100%とはならない。

注2）表は、2015～16年度に県が実施したパーソントリップ調査の結果を「群馬県交通まちづくり戦略」で公表したものより移動距離3.0kmまでの結果を抜粋。なお、対象は群馬県全域および足利市の約24万5000世帯で、回答が得られた5歳以上の13万6672人の距離別の交通手段を捉えたものである。

資料：群馬県「群馬県交通まちづくり戦略」（2018年3月）

### 【一口メモ】

群馬県では、今年3月に「ぐんま乗換コンシェルジュ」と名付けた公式アプリケーションをリリースした。県内全ての鉄道・バス・タクシーの経路検索結果（料金や所要時間など）表示のほか、イベントカレンダーから県内の観光情報などの検索も可能である。なお、Web版（乗換検索のみ）もある。「ぐんま乗換コンシェルジュ」を使って、公共交通機関を積極的に活用してみてはいかがだろうか。



AppStore用QRコード



GooglePlay用QRコード

（担当：河村英輝）